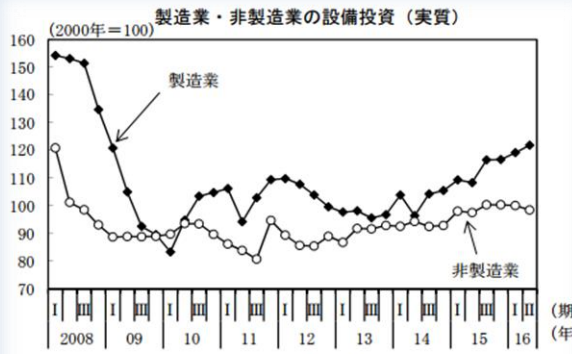
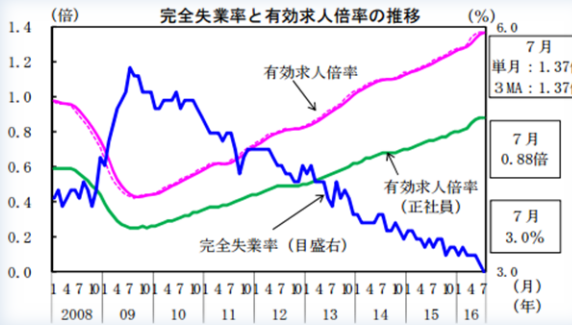


今月の経済動向（平成28年9月）

● 月例経済報告

<p>基調判断</p>	<p>景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。</p>
<p>個人消費</p>	<p>総じてみれば底堅い動きとなっている。</p> 
<p>設備投資</p>	<p>持ち直しの動きがみられる。</p>  <p>(備考) 1. 財務省「法人企業統計季報」、内閣府「国民経済計算」により作成。 2. 実質値は、QE設備投資デフレーターによる試算値。</p>
<p>住宅建設</p>	<p>持ち直しの動きがみられる。</p> 
<p>雇用</p>	<p>改善している。</p> 

[月例経済報告：内閣府](#)

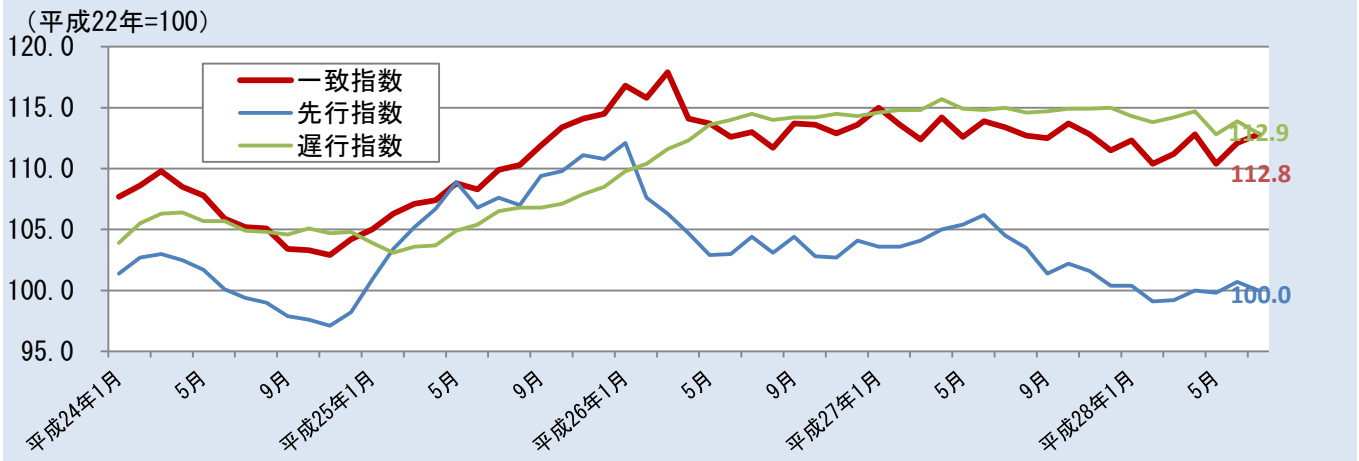
<p>生産</p>	<p>横ばいとなっている。</p>	<p>鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移 (2010年=100)</p>																
<p>輸出</p>	<p>おおむね横ばいとなっている。</p>	<p>地域別輸出入数量指数 (2010年=100) ①輸出</p> <table border="1"> <tr> <td>アメリカ</td> <td>7月 ▲ 4.2%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA ▲ 2.9%</td> </tr> <tr> <td>EU</td> <td>7月 ▲ 0.6%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA ▲ 0.4%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>7月 ▲ 1.6%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA ▲ 0.9%</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td>7月 ▲ 0.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA ▲ 1.2%</td> </tr> </table>	アメリカ	7月 ▲ 4.2%		3MA ▲ 2.9%	EU	7月 ▲ 0.6%		3MA ▲ 0.4%	全体	7月 ▲ 1.6%		3MA ▲ 0.9%	アジア	7月 ▲ 0.0%		3MA ▲ 1.2%
アメリカ	7月 ▲ 4.2%																	
	3MA ▲ 2.9%																	
EU	7月 ▲ 0.6%																	
	3MA ▲ 0.4%																	
全体	7月 ▲ 1.6%																	
	3MA ▲ 0.9%																	
アジア	7月 ▲ 0.0%																	
	3MA ▲ 1.2%																	
<p>国内企業物価</p>	<p>このところ下落テンポが鈍化している。</p>	<p>企業物価の推移 (2010年=100)</p>																
<p>消費者物価</p>	<p>横ばいとなっている。</p>	<p>消費者物価の推移 (2015年=100)</p>																
<p>海外経済</p>	<p>弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。</p>																	

[月例経済報告：内閣府](#)

● 景気動向指数（平成28年7月）

平成28年7月のCI一致指数は前月より0.7ポイント高い112.8ポイントとなった。CI先行指数は前月より0.7ポイント低い100.0ポイント、遅行指数は前月より1.0ポイント低い112.9ポイントとなった。
景気の基調判断(CI一致指数)は、「足踏みを示している」を据え置いた。

・ CIの推移



[景気動向指数：内閣府](#)